



左から坂口啓太さん、口田さん、坂口章太さん

昨年12月に開催された、岡山県内の小学生が自作のプログラミング作品を競う、おかやまキッズプログラミングアワード2022。「みんなの未来」をテーマにした10個人と2チームの中から、最優秀賞を獲得したのがチームMKSとして出場した口田道哉さん、坂口啓太さん・章太さんだ。3月には県代表として全国大会にも出場した。

3人は、SDGs（持続可能な開発目標）の17目標をクイズやタイピングゲームなどを交えながら楽しく学べるアプリを開発した。SDGsを取り上げた理由について啓太さんは、「みんなの未来のために何ができるか考えた時、最近話題になっていくSDGsについて楽しく学んでもらいたいと思ったからです」と教えてくれた。

昨春、もともとプログラミングに興味があった3人は、習い事での会話で意気投合。県大会へ向けチームを結成した。月に1回程度集まり、年長の口田さんを中心に、プログラミングの精度を高めたほか、発表の練習にも力を入れたという。口田さんは、「プログラミングやアプリ内で使うイラストの制作など、それぞれの得意分野を分担して作品を作り上げることができました」と振り返る。受賞時の心境について章太さんは、「生懸命作った作品が賞に選ばれて、とてもうれしかったです」と語ってくれた。

3人の将来の夢は、プログラマーやゲーム開発に携わることだそう。この大会での経験を生かして、明るい未来を切り開いていくと語る。

インタビュー Interview

プログラミングの力で 岡山のみらいを盛り上げたい 輝いている人

輝いている人
紹介動画



チームMKSのインタビューの様子を、動画で紹介しています

おかやまキッズプログラミングアワード2022で最優秀賞を獲得した

坂口 啓太さん (総社小5年)
坂口 章太さん (総社小4年)
口田 道哉さん (倉敷市立箭田小6年)

このコーナーでは、輝いている人を募集しています。あなたの周りにキラッと輝いている人がいたら、広報そうじゃ編集室（市政情報課）までご一報ください。自薦・他薦は問いません。



1



2

1 中庭には雪遊びを楽しむ児童たちの歓声が響き渡った
2 段ボール箱には中条小学校児童からのメッセージやイラストが描かれていた

雪国の友達からの贈り物

山手小学校雪遊び

2月24日、山手小学校の6年生のもとに、新潟県十日町市の中条小学校6年生から雪国の暮らしを感じてもらおうと、段ボール箱いっぱい詰められた雪が届きました。思いがけない贈り物に、児童たちは大喜びで段ボール箱を開封。雪の冷たさにはしゃぎながら、雪だるま作りや雪合戦など雪遊びを楽しんでいました。

十日町市・やまて友好交流は、令和2年以降行われていませんが、小学校の子どもたち同士の交流は現在も続いています。



ミニフォト

みんなで集まろう芋煮会



大鍋から香りと湯気が立ち上る

2月19日、富山地区小地域ケア会議が企画した芋煮会が昭和公民館富山分館で開かれました。市内外から約120人が参加。温かい芋煮に舌鼓を打ちつつ交流しました。また、福祉用品の展示やシニアカーの試乗も行われました。

先輩に教えてもらったよ



「土」という字で筆運びを習う

2月17日、「書写グッドスタート」と銘打って、書家の高木聖雨さんが母校・常盤小学校で特別授業を行いました。高木さんから筆の持ち方や運び方を習った2年生は、新年度から始まる書写の授業への期待を膨らませていました。

戦争終結への祈りを込めて



支援に感謝するチジェンコさん

ウクライナ侵攻から1年を迎えた2月24日から3月3日まで、市役所でウクライナの写真が展示されました。初日には、ウクライナ支援マスクの販売会を開催。同国からの避難民チジェンコ・アロナさんも会場を訪れました。

平松さん 100歳おめでとう



家族に祝福される平松さん

3月2日、平松ヤスコさん（清音柿木）が満100歳の誕生日を迎えられ、12日に市から記念品が贈呈されました。公務員として定年まで勤め上げた平松さん。長寿の秘訣は、多趣味で多くの人と交流することだそうです。

土本さん 100歳おめでとう



家族に祝福される土本さん

土本美知恵さん（原）が3月9日に満100歳の誕生日を迎えられ、10日に市から記念品が贈られました。手先が器用で、よく編み物をしていたという土本さん。長寿の秘訣は、たくさん食することだそうです。

保健福祉功労者表彰



地域福祉への貢献に感謝

2月18日、保健福祉功労者表彰の表彰式が総合福祉センターで行われました。多年にわたり保健福祉分野において功績のあった55人13団体に対し、市長や市社会福祉協議会長から表彰状や感謝状が授与されました。